



幼稚園便り

・・・7月号・・・

令和5年6月30日

中央区立月島第二幼稚園
園長 竹谷 直史

ストレスの効能

園長 竹谷 直史

夏らしい暑さを感じる日が増え、水にかかわって活動する機会も増えてきました。

園庭には、ミニトマトやナス、キュウリなど、子どもたちが育てている各種の夏野菜があります。これからも、夏の陽を浴びながら大きく育っていくことでしょう。収穫の時が今から楽しみです。

さて、植物は環境や条件によりその生長過程は大きく異なってきます。特に栽培物では、誰しも大きく美味しい実をつけてほしい、きれいな花を咲かせてほしいとの思いから、毎日同じ量の水を与えるなど、少しでもストレスを排除した心地良い環境を、と考えてしまいがちですが、その逆に、「ストレス栽培」という方法があります。植物は基本的にストレスがかかる事で、綺麗な花を咲かせたり、青々とした葉をもったりするようになります。この自然の原則を生かし、水を取って少なくしてみる、根切りをするなどその名の通り、生長を妨げない程度の各種ストレス要因を与えて、植物にある種の危機感を喚起し生長を促進させるという訳です。良かれと思ってストレスを排除することが、知らず知らずのうちにかえって生長を阻害し、不健康なメタボ栽培にもつながりかねないことを思うに、子育てにも同じような要素を感じた次第です。

今年度は、教育の現場に限らず各所でコロナ禍後の活動について判断を要するシーンが増えています。先程のストレス栽培に人間を置き換えてみると、コロナ禍という大きなストレスに際し、そこから人間としてどのように成長できるかが問われているようにも感じます。教育活動においても、コロナ禍前は前例踏襲がベースとなっていました。今は根本からその在り方そのものを問い直す機会が与えられているとも言えます。各種制限が緩和された今、とかく「元に戻す」という言葉が多く用いられがちですが、「戻す・戻さない」、「なくす・なくさない」という二元論で事を進めるのではなく、今の子どもたちにとって真にふさわしい教育内容になるよう、時間はかかりますが丁寧に検討を重ね、再構築していきながら各種活動を展開させることが大切と考えています。

その一つとして、今月は前述した夏野菜を使ってのカレーパーティーを予定しています。子どもたちが主体となり創意工夫しながら取り組む内容になりますので、その味もまた格別となるはず。その他、全体保護者会も、一人でも多くの方がご都合に合わせて参会できるよう、対面とオンラインを併用した形で実施いたします。

早いもので一学期も最終月となりました。教育活動に多くのご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございました。安全で楽しく充実した夏休みをお過ごしください。

< 7月の目標 >

年少組	<ul style="list-style-type: none"> 先生やみんなと一緒に過ごす楽しさを感じる。 いろいろな水遊びをしながら、水の感触を楽しんだり、水に親しんだりする。
年中組	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達と遊ぶ中で、思ったことや感じたことを自分なりの言葉で伝えようとする。 水遊びの約束を守り、水の心地良さや、水遊びの楽しさを感じながら遊ぶ。
年長組	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを言葉で友達に伝えながら、一緒に遊びを進めていく楽しさを知る。 水に親しみながら、自分なりに思いをもってプールでの遊びに取り組む。
安全目標	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みになることを知り、規則正しい、安全な生活ができるようにする。
生活目標	<ul style="list-style-type: none"> 水遊びの約束を守る。 水遊びの着替えや持ち物の始末等を自分でする。 着替えや汗の始末など、夏の生活の仕方を知る。

